

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ4:意識啓発・人材育成》 ⑨福祉への意識を高める

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
81	ア) 担い手の創出	新たな担い手の創出(新規)	地域福祉課	市社協と協力し、ボランティア講座等参加者を、確実に実践につなげるための工夫(ボランティア団体等の情報提供)、学生へのボランティアの機会づくり、好事例の情報発信、ボランティアデータベースの構築を目指します。	市社協に対し補助金を交付 補助金額 7,321,000円 【事業実績】 各種ボランティア講座を開催し、参加者にボランティア登録を促すとともに、登録ボランティアに対し、情報発信を行った。 ・登録ボランティア数 8,870人(個人4,140人、グループ4,730人/136グループ) ・ボランティアコーディネート件数 依頼件数 243件、対応件数 222件、対応率 91% ・パンフレット等の発行 ボランティア活動の手引き 4,200部 応援しますボランティア 4,000部 ボランティアセンターのお知らせ 9回/計14,780部	引き続き市社協に対し支援を行う。 補助金額 6,589,000円
			市民自治推進課		ボランティアデータベースの構築 市社協、市国際交流協会、市生涯学習センターと協力し、ボランティアデータベース(募集情報、団体情報)を構築し、平成24年1月に運用を開始。 ※データ件数(H24.2末現在) ・募集情報 91件、団体情報 218件	・ボランティアデータベースの運用 23年度に引き続き、市社協、市国際交流協会、市生涯学習センターと協力し、ボランティアデータベースを運用する。 ・大学・企業との連携を検討・実施
82		シニア(団塊)世代地域活動支援セミナー(新規)	市民自治推進課	シニア(団塊)世代の豊かな知識や経験を、ボランティア活動などの地域活動に生かすためのセミナーを開催します。	10月開催(起業家支援フェスタと同時開催) 平成23年10月23日(日) 参加者数:35人 11月開催(市民活動フェアと同時開催) 平成23年11月18日(金)・19日(土) 参加者数:37人	市民活動フェアの時期にあわせ、11月に開催予定
83	イ) 担い手の養成	社会福祉研修センターの運営	地域福祉課	社会福祉事業に従事する方等に対して、幅広い研修を行い、地域福祉を担う人材の養成と資質の向上を図るための支援を行います。	※H23.12月末現在 社会福祉事業に従事する方等を対象に研修を実施。 ・福祉施設職員(3研修) 308人 ・専門課題(8研修) 145人 ・社会福祉法人(2研修) 44人 ・訪問介護事業所従事者(6研修) 616人 ・行政職員(6研修) 168人 ・市民対象社会福祉セミナー(36講座) 1,320人 合計 2,601人	引き続き研修を実施する。
84		民生委員・児童委員、主任児童委員の研修	地域福祉課	地域住民の複雑多様化する福祉ニーズに応えるために、研修内容の充実を図るとともに児童健全育成活動、母子保健活動の推進など地域において児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員に対する研修を充実します。	・全体研修会1,107人 ・地区民児協会長・副会長研修会198人 ・民生委員・児童委員に対する精神保健福祉研修87人 ・主任児童委員研修会000人	引き続き左記研修を実施するとともに、民児協独自で実施する研修に対し、助言等を行う。
85		生涯学習センター・公民館等における指導者及び各種ボランティア養成	教育委員会生涯学習振興課	地域における生涯を通じた学習活動を支援するため、団体・グループ等の指導者やボランティア等の養成を図ります。	※平成24年2月末現在 ・生涯学習センター 指導者の養成(10講座) 411人 学習ボランティア活動の支援(2講座) 26人 ・公民館 公民館クラブ・サークル研修会等 341人	引き続き研修を実施する。
86		ヘルスサポーターの養成	各区保健福祉センター健康課 健康支援課	講習会などを開催し、「自分の健康目標をたて、健康づくりを実践する人」(ヘルスサポーター)の養成を推進します。	年間720人を目標に養成講習会を実施した。 平成23年12月末実績 87回714名	年間720人を目標に養成講習会を実施する。
87		ボランティア育成・活動支援の推進	国際交流課	国際化に対応した外国人市民とともに生きる地域社会の形成のため、日本語学習支援ボランティアを中心に研修等を行います。また、国際交流・国際協力活動を実施している団体に補助することにより、事業の活性化と本市の活性化を図ります。	国際化に対応した外国人市民とともに生きる地域社会の形成のため、日本語学習支援ボランティアを中心に研修等を行った。また、国際交流・国際協力活動を実施している団体に補助することにより、国際支援団体の事業の活性化と国際化の推進に資した。	引き続き、日本語学習支援ボランティアを中心に研修を行い、活動団体への補助を行い事業の活性化を図る。

千葉市地域福祉計画 事業別取組状況について（平成23年度）

《基本テーマ4:意識啓発・人材育成》 ⑨福祉への意識を高める

No.	主な取り組み		所管課	事業概要	平成23年度実績見込み（取組状況）	平成24年度の予定・目標
88	ウ) ボランティア の実践支援	認知症サポーター の養成講座	高齢福祉課	地域の町内自治会や職場、有志の集まりなどに講師が出向いて、認知症についての勉強会を実施し、認知症について正しい知識と理解を身につけた認知症サポーターを養成します。	1 学校や職域での講座の開催を目指す。 銀行で新規採用者向けの研修として取り入れてもらった。 中学校1校で開催された。 2 今年度4,000人の養成を目指していたが、2月現在約1,000人であり目標人数には達せない。	1 引き続き、学校、職域での複数の開催を目指す。 2 養成人数の目標は、3,000人とする。
89		食生活改善推進員 の養成	各区保健福祉 センター健康 課	地域の健康づくりのために、「食」を通したボランティア活動を行う食生活改善推進員(愛称「ヘルスメイト」)を養成します。	推進員数 260名 (H23.12月末現在) 養成人員 28名	地区ボランティアとして活動する食生活改善推進員を養成するとともに、食生活改善推進員が行う料理教室等のボランティア活動を支援する。
			健康支援課			
90		ユースリーダーの 養成	健全育成課	青少年活動のリーダーを養成するため、千葉市少年自然の家において、高校生・大学生を中心に宿泊研修を実施します。	青少年活動のリーダーを養成するため、千葉市少年自然の家において、高校生・大学生を中心に宿泊研修を実施した。 期間:平成23年8月13日～15日(2泊3日) 参加人数:18人(高校生12人、大学生6人)	平成24年度は事業を休止し、平成25年度から隔年開催とすることで、高校生、大学生が在学中に1度以上の参加機会が得られるように実施する予定。
91		障害のある子どもの 学校生活サポート	教育委員会養 護教育セン ター	学校生活において介助の必要な肢体不自由児や難聴児に対し地域のボランティアの派遣を行います。	通常の学級に在籍する児童生徒16名に対して、30名のボランティアを派遣し支援を行った。 また、階段昇降機を6校に19台、FM補聴器は、4校に8台、可動機は、2校に2台貸出を行った。	学校生活のサポートが必要な児童生徒にボランティアを派遣するとともに機器貸出を行う予定である。